

講演会参加者数	アンケート回収数	回収率
56	34	61%

1、あなたの職種を教えてください

職種	自治体	社会福祉協議会	福祉職（高齢）	福祉職（障がい）	医療職	法律職	民生委員	一般住民	その他	計
人数	8	6	8	6	2	0	2	1	1	34
割合%	24	18	24	18	6	0	6	3	3	100

2、この講演会の開催を何でお知りになりましたか（複数回答あり）

媒体	チラシ	友人・知人	ホームページ 新聞等	職場・関係機関	その他	計
件数	16	1	0	19	1	37
割合%	43	3	0	51	3	100

3、第1部北信地域障がい福祉自立支援協議会権利擁護部会による寸劇についてご意見ご感想をご記入ください

・楽しくわかりやすかった	13
・演技が上手だった	2
・ユニークだった	1
・相談窓口や制度の簡単な説明がまとまっていてよかった	1
・皆さんの熱演に驚きました	1
・知り合いの方が大活躍されていてとても楽しかったです	1
・市役所の窓口の場面に話に移ったのは現実味があって分かりやすかった。	1
・成年後見制度についてわかりやすく工夫されている寸劇でした。和らぎました。	1
・人生会議やエンディングなど終活について考えるのは気持ちが重くなるテーマですが、歌を交えて紹介してもらい前向きにとらえられました。	1
・何がわからないのか、共感できる部分が多く参考になりました。	1
・理想だとは思いますが、一人になってしまうとなかなかお話しするのが難しくなるので2人になった時に行政、地区、知り合いで何とかできないかと思います。	1
・温かみがありました。専門職だけに見せるのはもったいない。	1

4、第2部 トークセッションについて、ご意見・ご感想をご記入ください

・とても楽しいお話でした。	
・あきらめない唐木さんすごいですね	
・現在院内対応マニュアルを作成していますが、合意形成というところとてもしっくりきました。当たり前になってきている身寄りのない方への支援について、こうしてお話を聞けたり、話し合えることがありがたいです。	
・身寄りなしが第2のスタンダード本当にそう思います。「身寄りなし」というと困難ケースと考えてしまいますが、あくまでも本人主体ということも忘れてはいけないと改めて感じました。	
・南箕輪村の取り組みを知ることができました。これからますます増える身寄りのない方の支援に役立てたいです。	
・今回のように各機関が何をすべきかを明確にできる内容だと皆動いてくれそうな気がしました。地域、市町村によって差が大きすぎる気がしました。	
・事例をもとにガイドラインについて学ばせていただいた。障害分野として解釈できるところは今後に生かしたい。	
・たとえのケースをガイドラインに沿って話していただいたため、ガイドラインの使い方が具体的にわかってよかった。重度知的障害の方の意思決定は非常に難しいですが、役割分担として、社協、行政の協力が明確になると動きが出るのではと思いました。	
・仕事で経験してきたこと。次の場面で生かしていく力が素晴らしいと思いました。	
・南箕輪村の首長を含めた合意に至る過程を知りたいと思います。現場とつながる意思形成ができる行政って素敵です。	
・資料に追いつくのに大変でした。	
・現場の支援員としていろいろあきらめないようにしたいと思いました。	
・場面ごとの役割分担をしていたことなど共感しました。探り探りで後見人、ケアマネさんと何かあれば支援会議を通して話し合っていたところ。今日のセミナー参加してすそ野が広がりました。良かったです。	
・苦労してガイドラインをまとめられたこと。唐木さんの熱意ですね。	

- ・ 様々なガイドラインを参考に、身寄りのいない方の意見を尊重した支援ができるとよいと思いました。話し合いの場の重要性について学ぶことができました。

ご本人の意思を事前に聞くこと。

- ・ エンディングシートやACPの大切さ
自分が何ができるかを考えさせられました。
- ・ 難しい問題だと思いました。

仮ケースを通じてガイドラインのポイント、流れがわかりやすく理解できました。「合意形成は関係機関の連携が一番のポイント。しかしながら10年かったというお話から難しいところと感じました。うちは小さな村で、その場その場で行政的に処理はしてきていますが、「合意形成」を成立させるには話し合う場が必要。明文化できればよりよいと思います。大変わかりやすく理解ができました。ありがとうございました。

- ・ 事例を用いての説明で、理解しやすかった。
 - ・ 南箕輪村のガイドラインを詳しく聞くことができ、よかったです。このガイドラインの形までもっていったことがすごいなあと思いました。
 - ・ 県で初のガイドラインを作成した南箕輪社協さんのお話を聞くことができ、大変有意義な時間になりました。
 - ・ 地域において各機関の役割分担、合意形成を図っていけるよう今後取り組んでいく時期に来ていると痛感した。
- まずは話し合う場を持つところからやっていきたい。

- ・ 本当の事例のように聞き入ってしまいました。今後についてもためになるお話だったと思います。こういった事例をいくつか聞きたいと思いました。

とても参考になりました。役割分担をすることで身寄りのない方の意思が尊重され、亡くなった後もご本人の尊厳が守られる社会になってほしいと感じました。

私たちのところの行政や社協の職員は南箕輪村のように動いてくれない。特に社協はほとんど登場してくれない。現在民間で頑張ってくれ
る力を借りるしかない。
施設や医療機関と建設的に話し合えたらうれしい。

事例を交えたことで、具体的な実情を実感しました。

- ・ だれがどのような役割を担っているのか。ご本人を交えて、まずは行政が中心となって話し合う重要性を感じました。
- ・ ずっと聞きたい(と思っていた)テーマでした。ありがたかったです。
- ・ 大切だし、必要だと思うので、村のほうでも少しずつでもできていけばいいなと思いました。各機関の合意形成の大切さ。
- ・ 先進的な取り組みを聞くことができ参考になりました。小さな村の社協さんが声を上げ、この問題解決のためにガイドライン作成までこぎつけたというところに敬意を表します。
- ・ 一つの村のことだけでなく、何年も前から全国で話されていることです。
- ・ 専門職の皆さんに頑張っていたきたいです。
- ・ まずはお二人のわかりやすく、無駄のない進行が素晴らしいです。
- ・ あたらめてホームページ等で復習します。
- ・ 南箕輪の社協は自ら考えて充実している。（安心して死ねる事例が作られている）

5、今後参加したい研修の内容やご要望等ございましたらお聞かせください。

- ・ 地域の役割分担の明確化
- ・ 本人が希望する生活実現に向けた地域の役割分担についてみたいなテーマがあるといいと思います。